

2011 REPORT

千葉興業銀行レポート

ミニ・ディスクロージャー誌

第89期 営業のご報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

目次

ごあいさつ	2
企業理念・経営方針	3
営業の概況	4
地域コーナー	9
CSR の取組み	11
トピックス	17
財務諸表	19
役員・株式の状況	21

ごあいさつ



平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。平成22年度の当行の経営内容、業績、CSRの取組み等につきまして、皆さまにご理解いただけますよう、ミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。ご覧いただければ幸いです。

さて、平成23年3月に発生いたしました「東日本大震災」は、家屋倒壊等の直接的被害とともにサプライチェーン（供給網）の寸断による生産活動の制限や電力不足をもたらし、わが国経済・市場環境は先行き不透明な状況となっております。当行が営業基盤とする千葉県経済におきましても、直接・間接的な被害がもたらされ、県内産業への影響等、中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にあります。

このような経済環境のなか、当行においては、平成23-24年度新中期経営ビジョン『ちば興銀“変革・成長”戦略』がスタートいたしました。この新中期経営ビジョンでは「トップライン収益の極大化」と「持続的成長基盤の構築」を経営課題とし、具体的な戦略施策を展開してまいります。お客さまのニーズや経営課題解決とともに取組み「地域のお客さまのベスト・コンサルタント」さらには「選ばれ続け、地域・お客さまになくはならない絶対的存在感のある銀行」となることを目指し、当行グループの総力を結集して業務に邁進してまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成23年6月

取締役頭取・CEO 青柳俊一

当行の概要 （平成23年3月31日現在）

設立：昭和27年1月
本店：千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
資本金：579億4,189万3,949円
従業員数：1,306名



ちば興銀は、次世代認定マークを取得しています。

企業理念・経営方針

企業理念

- 地域とともに** ▶ 私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。
- お客さまのために** ▶ 私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。
- 「親切」の心で** ▶ 私たちは、心のふれあいを大切に、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

経営方針

平成23年度、平成24年度の2か年におきましては、新中期経営ビジョン『ちば興銀“変革・成長”戦略』に基づき「トップライン収益の極大化」と「持続的成長基盤の構築」を経営課題として、「顧客ロイヤルティ向上戦略」を経営戦略の根幹とする具体的施策に全行員・スタッフが一丸となって取り組んでまいります。

平成23-24年度
中期経営ビジョン

『ちば興銀“変革・成長”戦略』 トップライン収益極大化と持続的成長基盤の構築

顧客ロイヤルティ向上戦略

顧客基盤・収益基盤の強化

- 1 新たな顧客・収益の創出に向けた取組み**
 - ロイヤルカスタマーの拡大・増強
中小企業(オーナー)、地権者、金融資産富裕層に対する取引推進強化
 - 顧客ニーズ基点の営業態勢強化
 - 強固かつ中長期的な顧客リレーションシップの構築
 - 「個人」への営業展開の強化
- 2 顧客接点の継続性・持続性を高めるための取組み**
 - 顧客満足度(CS)の向上
 - 顧客対応力の向上 ■ 顧客サービス力の向上
- 3 当行「強み」のさらなる強化のための取組み**
 - 地域密着型金融の恒久的な取組み
経営改善・事業再生に向けたコンサルティング機能の発揮
 - 成長基盤分野・事業への支援強化
「医療・介護・福祉」「農業(アグリ)」を重点とする支援強化

人材・組織基盤の強化

- 1 コンサルティング能力の向上**
 - コンサルティング人材の育成・強化
 - コンサルティング機能提供態勢の強化
- 2 人材育成と組織力の強化**
 - 自律型人材育成等の強化 ■ 組織活力・体制の強化
 - 業務改善・効率化への取組み強化
 - 創立60周年記念事業の展開
 - みずほグループ・アライアンスの活用強化
- 3 経営体質の強化**
 - リスクマネジメントの強化
 - 強固なコンプライアンス態勢の構築
 - コスト管理高度化体制の強化
 - 財務体質の強化、外部評価改善への取組み強化
 - 株主・投資家リレーションシップの強化

営業の概況

グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

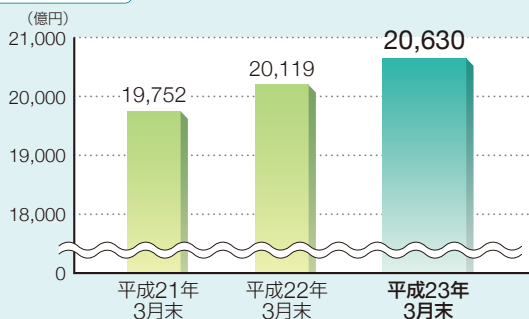
預金・貸出金等の状況 ～預金・貸出金は堅調に推移～

総預金の当期末残高は、平成22年3月末比511億円増加し2兆630億円となりました。特に個人預金については、「マリーンス応援定期預金」や「ゆめ半島千葉国体応援定期預金<チーバくん定期>」等がご好評をいただき、平成22年3月末比508億円増加し、1兆6,472億円となりました。

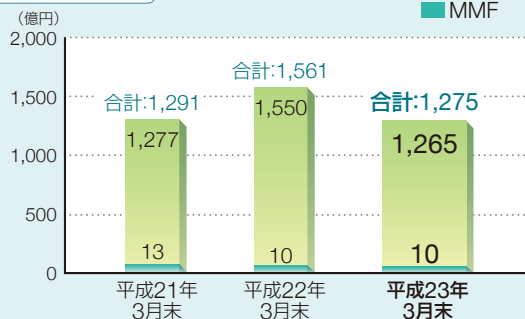
投資信託の預り資産残高は、販売額については増加傾向にありましたが、単位型投資信託の償還等が進み、平成22年3月末比285億円減少し、1,275億円となりました。

総預金残高

※総預金残高には譲渡性預金を含めております。

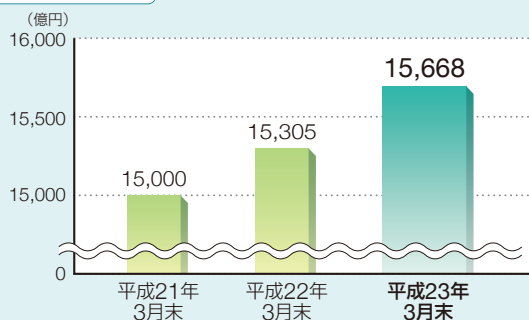


投資信託残高

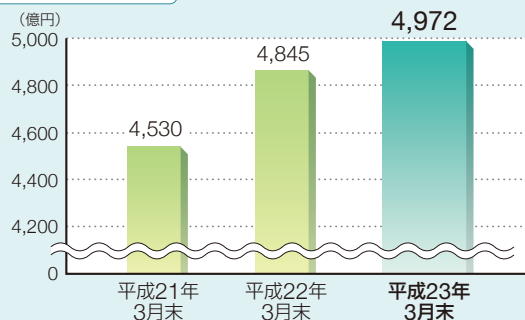


当期末の貸出金残高は、お取引先へのリレーション強化、新規貸出先増強に努めた結果、平成22年3月末比363億円増加し1兆5,668億円となりました。住宅ローンについては、住宅販売会社等との連携強化、相談会開催等によりお客さまの借換えニーズに積極的に取組んだ結果、平成22年3月末比127億円増加し4,972億円となりました。

総貸出金残高



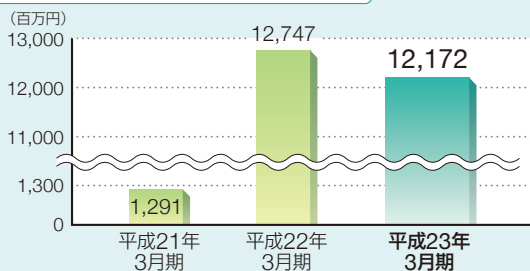
住宅ローン残高



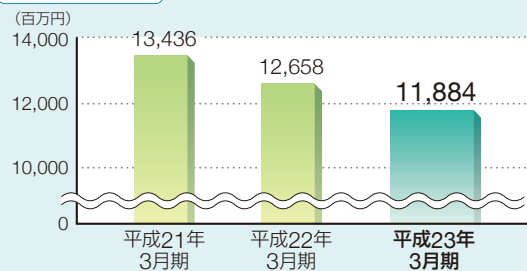
損益の状況

預金・貸出金は堅調に推移しましたが、市場金利低下の影響もあり、預金利息が平成22年3月末比13億49百万円減少したものの、貸出金利息が平成22年3月末比16億90百万円減少したほか、有価証券利息配当金が減少し、資金利益は平成22年3月末比4億79百万円減少いたしました。投資信託販売の増加に伴い役務取引等利益は平成22年3月末比6億5百万円増加したものの、コア業務純益は、平成22年3月末比7億73百万円減少となりました。一方、企業経営支援の取組みや与信管理の徹底等により貸倒償却等の不良債権処理額が平成22年3月末比5億32百万円減少し、また、株式等関係損益が平成22年3月末比6億90百万円改善するなど、臨時損益が平成22年3月末比12億69百万円増加し、経常利益は、平成22年3月末比8億44百万円増加し、67億88百万円となりました。また、償却債権取立益が平成22年3月末比8億77百万円増加したこと等により、特別損益が平成22年3月末比9億89百万円増加したことから当期純利益は平成22年3月末比22億1百万円増加して76億31百万円となりました。

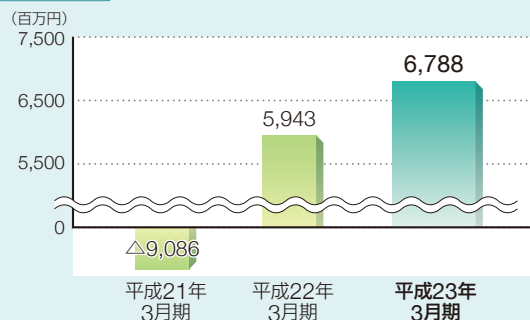
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）



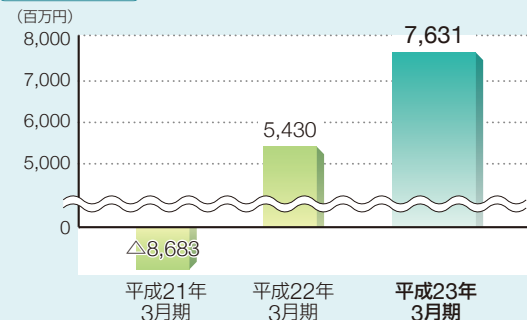
コア業務純益



経常利益



当期純利益



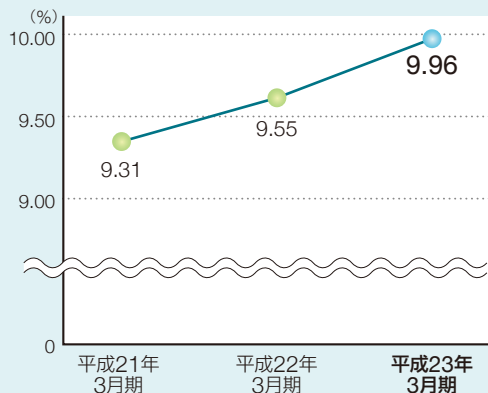
※コア業務純益 業務純益から一般貸倒引当金繰入額、国債等有価証券関係損益を除いて算出しています。

自己資本比率等

銀行経営の健全性をみるうえで大切な指標である自己資本比率は、当期末においても国内基準の4%を上回る9.96%となっております。

また、経営の効率性を示す経営指標であるコアOHR(※1)は、コア業務粗利益(除く国債等債券関係損益)の減少や経費の増加により67.40%と前期比1.90ポイントの増加となりました。また、収益性の高さを示すROA(※2)は、コア業務純益の減少により0.54%と前期に比べて0.04ポイント低下いたしました。

自己資本比率



自己資本比率算定明細表

(単位:%・百万円)

	平成22年3月末	平成23年3月末
1. 自己資本比率	9.55	9.96
2. 基本的項目	114,276	120,745
3. 補完的項目	10,161	10,243
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	—	—
(ロ)うち劣後ローン残高	5,500	5,500
4. 控除項目	199	196
5. 自己資本 (2+3-4)	124,238	130,792
6. リスクアセット	1,300,355	1,312,192
うちオンバランス	1,196,595	1,216,828
うちオフバランス	31,547	25,611
うちオペレーショナルリスク	72,212	69,752

※1 コアOHR(経費対コア業務粗利益率=経費÷コア業務粗利益(除く国債等債券関係損益)×100)
一定の業務粗利益を得るために、どの程度経費がかかっているかを表わす指標で、値が小さいほど経営の「効率」の高さを示しています。

※2 ROA《コア業務純益ベース》(総資産利益率=コア業務純益÷総資産期中平残(除く支払承諾見返)×100)
投下された総資産が利益(コア業務純益)を得るために、どの程度効率的に利用されているかを表わす指標で、値が大きいほど経営の「収益性」の高さを示しています。

経営改善支援の取組み等

「中小企業金融円滑化法」の趣旨を踏まえ、全営業店への「ご返済相談窓口」の設置、ローンプラザ等で休日相談に対応するなど、従来以上にお取引先の資金繰り下支え、経営改善に向けた相談等に積極的に取組んでまいりました。また、「地域経済・地域社会発展への貢献」を経営課題の一つに掲げ、地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的に支援することを通じて、健全企業に再生できるよう中小企業金融円滑化の取組みにも真摯に対応してまいりました。このような取組みを実施したことなどから、正常債権を除いた金融再生法における「開示債権額」は、平成22年3月末比33億41百万円減少し、445億56百万円となりました。総与信に占める割合（開示債権比率）は、平成22年3月末比0.27ポイント改善し2.75%となりました。

今後もお取引先の経営課題を把握・分析し、適時に最適なソリューションを提案する等、金融コンサルティング機能を発揮し、経営改善支援・事業再生等に向けた取組みを積極的に実施してまいります。

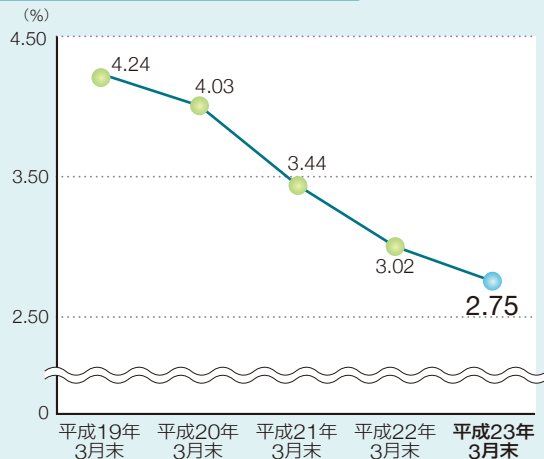
平成21年度～23年度「地域密着型金融の恒久的な取組み」数値目標の進捗状況

経営改善支援等の取組み項目	平成21年4月～平成23年3月		達成率
	数値目標	実績	
経営改善支援先に対する経営改善計画策定先数	30先以上	77先	256.6%
経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率(注1)	15%以上	16.7%	111.3%
事業再生に向けた取組み先数(注2)	5先以上	21先	420%

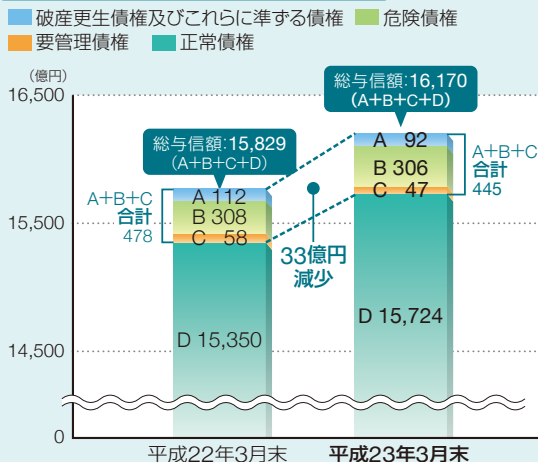
(注1) 経営改善先に対する債務者区分ランクアップ率=経営改善支援先のうち期初比債務者区分ランクアップ先/経営改善支援先数(正常先除く)

(注2) 中小企業再生支援協議会支援決定、千葉県中小企業再生ファンド活用、DES・DDSの活用、再生企業に対するエグジットファイナンス実行等の先数。

金融再生法に基づく開示債権比率



金融再生法に基づく開示債権額比較



ATMネットワークの充実

平成22年9月には、コンビニATMの提携先が新たに2社加わり、全国のローソン店舗等に設置の「ローソンATM」と、ファミリーマートやミニストップ店舗等に設置の「イーネットATM」が当行のキャッシュカードで、原則365日24時間「お引出し」「お預入れ」「残高照会」をご利用いただけるようになりました。

これまでの提携先、セブン銀行・イオン銀行・ビューアルutte（JR東日本の駅内ATM）を含め、県内ATMの拠点は2,271か所となりました。（平成23年4月30日現在）

格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所（JCR）から長期優先債務（※）格付けを取得し公表しております。平成22年9月に見直しを行い以下のとおりとなっております。

格付け 「BBB(トリプルBフラット)」【据え置き】

格付け見通し 「安定的」【据え置き】

（格付けの公表：平成22年9月27日） ※長期優先債務：格付対象会社の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

利益分配に関する基本方針等

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

優先株式の配当 当期の優先株式の配当につきましては、所定の配当をいたします。

普通株式の配当 当期の普通株式の配当につきましては、見送らせていただくことといたしました。普通株式の株主の皆さまには、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

株主優待制度の拡充

日頃のご支援に感謝の意をこめて、ご優待制度の拡充に努めております。平成23年3月31日現在で千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に「株主優待定期預金」の制度を昨年に引き続きお取扱いいたします（平成23年7月実施予定）。従来の株主優待制度である「さわやかハロー24」（※）ともども、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

※「さわやかハロー24」

当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関ご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用いただけます。

地域のお客さまとのお取引の状況

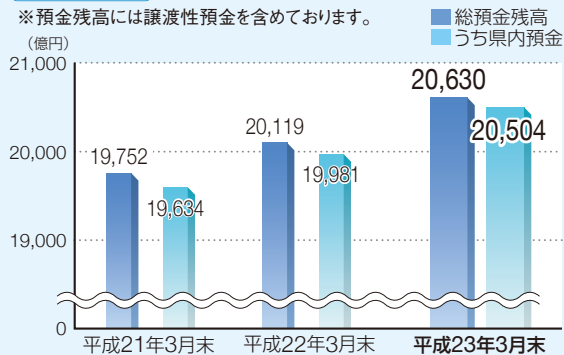
当行では預金の大半を地域のお客さまからお預りしております。そして、この大切な預金を県内の企業や個人のお客さまへの貸出に向けております。

また、平成23年3月末の県内保証協会保証付貸出金は11,129件の1,474億円となっております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

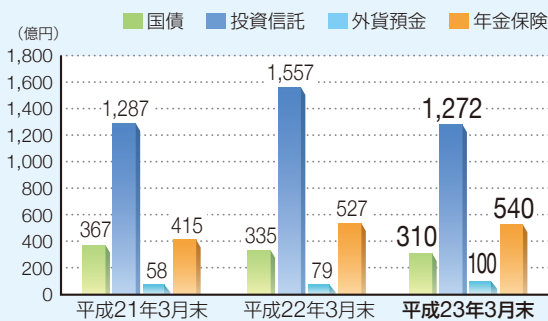
預金残高等

※預金残高には譲渡性預金を含めております。



預り資産残高

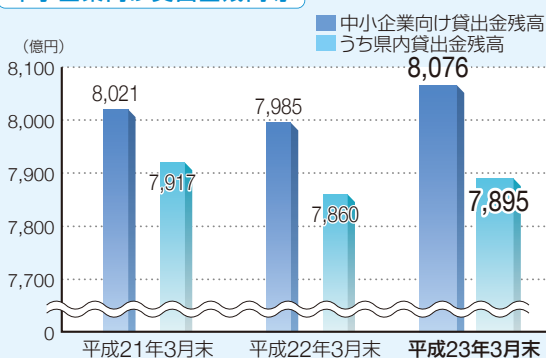
平成23年3月末の預り資産の大半が県内での預り資産です。



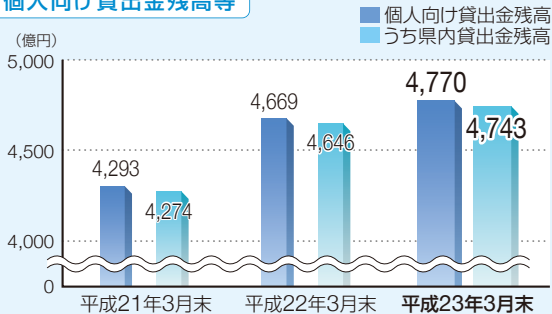
貸出金残高等



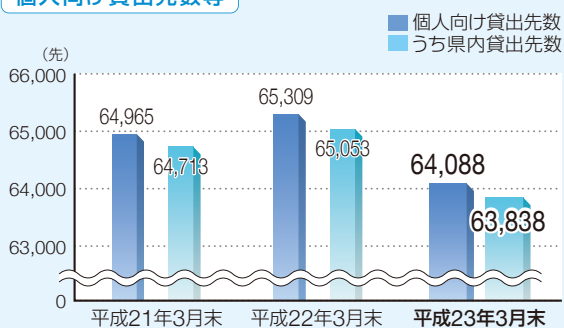
中小企業向け貸出金残高等



個人向け貸出金残高等

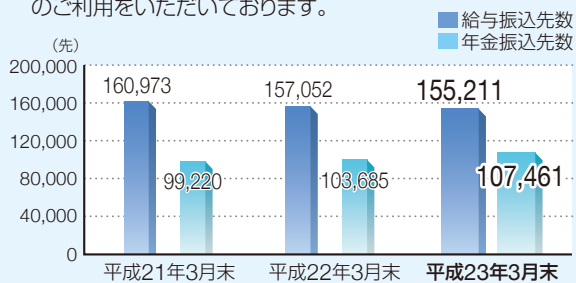


個人向け貸出先数等



給与振込・年金振込の口座数

給与振込や年金振込などにつきましても、多くのお客さまのご利用をいただいております。



業種別貸出金残高

当行は、それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っております。

(単位:億円)

業種	平成23年3月末 貸出金残高	
	貸出金残高	うち県内向け
製 造 業	1,601	1,549
農 業、林 業	40	40
漁 業	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業	27	27
建 設 業	873	871
電気・ガス・熱供給・水道業	69	69
情 報 通 信 業	47	45
運 輸 業、郵 便 業	594	586
卸 売 業、小 売 業	1,861	1,826
金 融 業、保 険 業	594	593
不動産業、物品賃貸業	3,233	3,130
各 種 サ ー ビ ス 業	1,668	1,651
地 方 公 共 団 体	277	277
そ の 他	4,778	4,751
合 計	15,668	15,421

CSRの取組み～地域社会・地域経済への貢献～

文化・スポーツ活動

「美しい房総」写真展の開催

美しい郷土・風景をお楽しみいただこうと、季節にあわせ、県内写真家の傑作を当行の営業店ロビー等で随時展示しております。



「ちば興銀コスモスセミナー」の開催

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに、無料公開講座を年2回開催しており、毎回ご好評をいただいております。第13回は平成22年9月に「川が運んだ伝統文化」をテーマに開催し、約90名のお客さまが受講されました。



コスモスコンサートの開催

地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、JR千葉駅前広場にて年2回(6月「祝・千葉県民の日」、10月「祝・千葉市民の日」)、ミニコンサートを17年連続で開催しております。



各種スポーツ大会への協賛

平成22年10月に、当行主催による「第21回千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を、県内ゲートボール愛好家70チーム・約460名の参加により開催いたしました。

また、「千葉県障害者スポーツ大会」への協賛及び選手参加(5月)や、その他県スポーツ振興財団への協賛も行っております。



社会奉仕活動

「小さな親切」運動の推進

当行は、35都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部及び事務局として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈る「実行章」は、千葉県内で平成22年度(4月～3月)において3,155名が受章されました(累計306千人以上で全国第2位)。

当行行員は全会員登録しており、清掃等のボランティア活動や寄付・募金活動を実施しております。



交通安全意識を啓蒙

当行と千葉日报社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、県内新中学一年生へスポークライト(自転車事故防止用反射板)8,300個を贈呈しております(16年間で延べ204,150個)。

また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間におけるポスターの全店掲示及び、交通安全リボンを全行員・スタッフが着用しております。



地域交流活動への積極的参加

春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフ及びその家族がボランティア参加しております。(全部路店参加 総数1,081名)

また、国道14号・357号沿線の16企業・団体に組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道を清掃しております。

(平成22年度延べ332名参加)



寄付活動

全店から集めた古切手・使用済テレカ等を、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しております。これらは、障がい者への車椅子購入やボランティア活動資金に利用されております。また、行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会事務局の柏戸病院へ寄贈しております。

当行役職員による募金活動「ともじびの会」より、年末に県内の養護施設等へ浄財を寄贈しております。



次世代育成への取組み

当行では地域金融機関として、次世代育成支援に取り組んでいます。次世代育成支援対策の浸透を図ることで、地域社会の活性化、ひいては千葉県経済全体の発展につなげていきたい、との思いから各種取組みを行っております。

夏休み体験隊 「サマーキッズスクール2010」の開催!

県内在住の小学校5・6年生を対象として開催しており、今回で4回目となります。当日は、銀行内の貸金庫等を見学するとともに、銀行やお金の仕組み等について学び、大切なお金に関する理解を深めていただきました。また、通帳の作成を模擬体験していただきました。

今回は、「ゆめ半島千葉国体」の開催記念事業ともなり、参加した皆さんには「チーバくん」との記念撮影等でもお楽しみいただきました。

平成22年8月5日実施



講師/
千葉商科大学
大学院教授
伊藤 宏一 先生



「エコノミクス甲子園千葉大会」の開催!

次世代育成支援活動のひとつとして、「全国高校生金融経済選手権大会(エコノミクス甲子園)」千葉大会を、平成22年12月に開催いたしました。

「エコノミクス甲子園」とは、社会に羽ばたく前の高校生を対象として、世の中がどのような金融経済の仕組みで動いているのか理解して読み解き、自分の「ライフデザイン」や「お金との関わり方」についてクイズを通して考えるきっかけとするためのイベントです。金融経済教育の普及を図るためにNPO法人金融知力普及協会が実施しており、千葉大会としては2回目となる本大会について、昨年同様当行と千葉銀行と共同で主催いたしました。

(後援:千葉県・千葉県教育委員会・千葉県金融広報委員会)

平成22年12月5日開催



次世代経営者育成への取組み

ちば興銀「経営塾」

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的で開催しております。これまでに100名を超える塾生が学び、平成22年10月からは第四期生のプログラムがスタートいたしました。



講師／
千葉ロッテマリーンズ
監督 西村 徳文 氏

最近の活動状況

- 22/11 中期経営計画策定講座 第2講<合宿形式>
- 22/12 中期経営計画策定講座 第3講
- 23/1 新春講演会&賀詞交歓会
- 23/2 中期経営計画策定講座 第4講「各社発表会」
- 23/4 リスクマネジメント講座 第1講
- 23/5 京都地区視察会(5月19日～20日)



医業経営者へ向けた取組み

ちば興銀「医業経営カンファレンス」の開催!

医療機関の経営層に向けたセミナー、『ちば興銀 医業経営カンファレンス』を開催いたしました。本セミナーでは、著名な講師や医業経営の専門家による講演会や意見交換会を実施し、医業経営の悩みについて、専門家と直接意見を交わすことができる機会をご提供いたしました。



講師／
東京医科歯科大学大学院
歯科学総合研究所
医療経済分野 教授
川瀬 孝一 先生
([病院の品格]の著者)



平成23年2月17日実施

地域活性化への取組み

千葉県産食材見本市「千産千商2010」の開催! -聖徳大学短期大学部との産学連携-

平成22年5月に締結した聖徳大学短期大学部との産学連携に関する協定の活動のひとつとして千葉県産食材見本市「千産千商2010」を開催いたしました。企業関係者だけでなく、一般消費者である個人のお客さまも参加いただく食のイベントです。「ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会」の開催記念事業として、地元・千葉の食材を広くPRするために企画したもので、当日は講演会や試食会・展示即売会等も実施し、多くの方にご参加いただきました。

試食会では、聖徳大学短期大学部の学生が、地元食材を「ゆめ半島千葉国体おもてなしレシピ集」を参考に料理やお菓子にアレンジし、「ちばの味」の奥行きと新しい可能性を紹介いたしました。展示即売会では、「今後も購入したい」との声が多く寄せられ、参加企業の知名度アップ、ならびに企業と消費者をつなぐ「BtoC」としての販路拡大に貢献いたしました。

平成22年9月10日実施



ちば興銀は千葉ロッテマリーンズを応援しています!

「ちば興銀スペシャルナイター」開催!(平成22年7月18日)

ちば興銀では、毎年マッチデーを開催しており、公式ファンクラブであるTEAM 26との共同企画による様々な催しを行っております。また、千葉国体のマスコットキャラクター「チーバくん」と千葉ロッテマリーンズのメインマスコットキャラクター「マーくん」との共同イベントも実施し、多くの方にお楽しみいただきました。

ちば興銀ブースでは、観戦チケットなどが当たる抽選会を実施。景品の中には当行オリジナルのマリーンズ・ちば興銀・千葉国体の特製タオルなどもあり、大変ご好評をいただきました。

また、千葉ロッテマリーンズの日本シリーズでの勝利を祈念する意味をこめて平成22年10月27日より、「感動をありがとう!マリーンズキャンペーン」を、日本シリーズ優勝が決定した翌日の平成22年11月8日より11月30日まで「夢をありがとう!マリーンズキャンペーン」を実施いたしました。

ちば興銀は、地元金融機関として、今後も千葉ロッテマリーンズを応援してまいります。



「ゆめ半島千葉国体」「ゆめ半島千葉大会」を応援!

■ 「チーバくん」&「マーくん」 コラボレーションポスターを全店に掲示!

平成22年4月より、「ゆめ半島千葉国体・千葉大会」のマスコットキャラクターである「チーバくん」と「千葉ロッテマリーンズ」のメインマスコットキャラクターである「マーくん」のコラボレーションポスターを全営業店(72か店)に掲示いたしました。

ちば興銀は、地元球団である「千葉ロッテマリーンズ」を応援しておりますが、同じく、平成22年9月に開催された「第65回国民体育大会“ゆめ半島千葉国体”」のオフィシャルスポンサーとして、またあわせて「第10回全国障害者スポーツ大会“ゆめ半島千葉大会”」についても応援いたしました。「チーバくん」「マーくん」の両人気キャラクターが登場するポスターの掲示により、県民の皆さまと共に「千葉ロッテマリーンズ」と「ゆめ半島千葉国体・千葉大会」を応援し、県内の活性化に寄与いたしました。



■ ゆめ半島千葉国体応援定期預金<チーバくん定期>を発売、 千葉国体に約500万円を寄付!

「第65回国民体育大会“ゆめ半島千葉国体”」及び「第10回全国障害者スポーツ大会“ゆめ半島千葉大会”」を応援するため、お預入れいただいた定期預金の0.02%相当額(*)を千葉県の大会事務局に寄付する「ゆめ半島千葉国体応援定期預金<チーバくん定期>」を平成22年7月から9月末の期間限定で取扱いたしました。(*)お客さまのご負担はございません。

お客さまから大変ご好評をいただき、お預入総額は250億円を突破、5,079,448円の寄付金を贈呈することができました。



■ ゆめ半島千葉国体・開会式にブースを出展!(平成22年9月25日)

千葉県での国体開催は37年ぶりとなる「ゆめ半島千葉国体」の開会式では、当行行員がアシスタントとして参加し、式典をサポートしました。また、千葉銀行と共同で「おもてなしブース」を出店し、平成22年12月開催のエコノミクス甲子園のチラシやコスモスの種を配布いたしました。

ちば興銀は、地元金融機関として、今後とも地域活性化に積極的に取り組んでまいります。

トピックス

『マリーンズ応援団定期2011』発売!(平成23年3月)

毎年期間限定にて取扱っている恒例の定期預金「マリーンズ応援団定期」の取扱いを開始いたしました(平成23年8月31日まで)。この定期預金は、千葉ロッテマリーンズの戦績によりお預入れいただいた定期預金の上乗せ金利^(※)が決まります。今回で11回目の取扱いとなりますが、毎回、地元球団である千葉ロッテマリーンズを応援する多くのお客さまに大変ご好評をいただいております。

※初回適用金利はスーパー定期(お預入れ額300万円以上はスーパー定期300)1年ものの店頭表示金利が適用されます。
*詳細については、「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。



「お客さまにやさしい」店づくり

目のご不自由なお客さまでも操作が可能な「視覚障がい者対応ATM」を全営業店に設置いたしております。ATM付属のハンドセット(受話器)から流れる操作誘導の音声ガイダンスに従い、ハンドセットについたテンキーボタンにて操作いただけます。お預入れ・お引出し・残高照会・通帳記入のお取引でご利用いただけるものです。

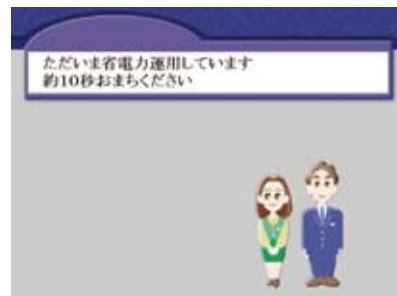
ちば興銀ではこれからもお客さまにご利用しやすく、やさしい店づくりをすすめてまいります。



全ATMの省電力化対応を実施!(平成23年4月)

ちば興銀では、節電及び環境への取組み(CO₂削減)の一環として、店舗内・店舗外全てのATMを省電力モードにて運用いたしております。標準取引を前提とした算出にて、約25%の消費電力削減が可能となります。

お客さまには、ATMが起動するまで約10秒お待ちいただく場合がございますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。



このたびの東日本大震災により被害を受けられた被災者の皆さまに対しまして、心よりお見舞い申しあげます。ちば興銀では、東日本大震災により千葉県の経済活動が様々な影響を受けるなか、被害を受けられた皆さまの災害復旧等にお役立ていただくために、下記取組みをいたしております。

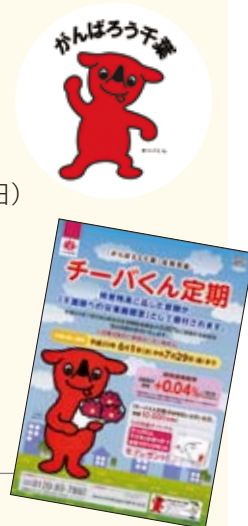
- 「災害復旧支援ローン」の取扱(取扱期間:平成23年3月18日～9月30日)
災害復旧にかかる住宅関連資金(土地・住宅の購入、新築・改修資金等)
- 災害復旧支援資金「頑張ろう!千葉」の取扱(取扱期間:平成23年3月18日～9月30日)
災害復旧に伴う事業資金(運転・設備)
*詳細については、お近くのちば興銀窓口までお問い合わせください。

その他、全店舗に「東日本大震災関連ご融資相談窓口」を設置し、ご相談を承る体制を整備しております。「特別相談会」も実施いたしました。
また、県内被災地の復興等に役立てていただくため、当行及び関連会社役職員から義援金を募り千葉県災害対策本部等へ寄付いたしました。

また、ちば興銀では千葉県経済の活性化を応援する様々な取組みを行っております。千葉県が実施する「がんばろう千葉」キャンペーン及び「がんばろう千葉応援隊」の趣旨に賛同し、法人として応援隊に加入いたしております。

がんばろう千葉応援隊活動事例

- <がんばろう千葉>定期預金チーバくん定期の販売(販売期間:平成23年6月1日～7月29日)
お客さまにお預入れいただいた定期預金の残高に応じて、当行が千葉県災害義援金へ寄付(*)を行う定期預金を発売いたしております。寄付は販売期間終了後の平成23年8月を予定しております。
(※)お客さまの負担はございません。
*詳細については、「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。
- 「がんばろう千葉」千葉県産応援キャンペーンの後援(実施日:平成23年5月3日～5日)
館山道市原サービスエリア(上り車線)で開催した、千葉県産の生鮮食品、農水産加工品他のPR及び販売に関するイベント(「がんばろう千葉」@館山道市原SA)を後援いたしました。



今後も千葉を元気にするための様々な活動を行ってまいります。
被害を受けられた皆さまの一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

- 「がんばろう千葉」キャンペーンについては下記千葉県HPをご参照ください。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kouhou/miryoku/ganbaro/index.html>

財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第89期末(平成23年3月31日現在)

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	77,994	現金	2,056,282
現金	30,206	当座預金	48,463
預け金	47,788	普通預金	927,578
買入金銭債権	11,811	貯蓄預金	27,179
商品有価証券	152	通知預金	4,343
商品国債	73	定期預金	1,031,034
商品地方債	79	定期積金	9
有価証券	504,306	その他の預金	17,673
国債	206,831	譲渡性預金	6,780
地方債	45,226	借入金	7,500
社債	158,799	借入金	7,500
株式	17,502	外国為替	31
その他の証券	75,947	外国他店預り	3
貸出金	1,566,881	売渡外国為替	27
割引手形	10,589	その他負債	14,162
手形貸付	72,153	未払法人税等	222
証書貸付	1,314,962	未払費用	2,775
当座貸越	169,175	前受収益	1,257
外国為替	5,666	給付補てん備金	0
外国他店預け	4,042	金融派生商品	956
買入外国為替	1,093	リース債務	1,063
取立外国為替	530	その他の負債	7,885
その他資産	12,634	退職給付引当金	5,004
前払費用	0	役員退職慰労引当金	64
未収収益	2,290	睡眠預金払戻損失引当金	445
先物取引差入証拠金	3	支払承諾	21,404
金融派生商品	1,363	負債の部合計	2,111,673
その他の資産	8,975	(純資産の部)	
有形固定資産	19,095	資本金	57,941
建物	6,135	資本剰余金	32,792
土地	10,838	資本準備金	32,792
リース資産	1,063	利益剰余金	32,660
その他の有形固定資産	1,057	利益準備金	2,723
無形固定資産	1,867	その他利益剰余金	29,937
ソフトウェア	1,479	繰越利益剰余金	29,937
その他の無形固定資産	388	自己株式	△63
繰延税金資産	23,832	株主資本合計	123,331
支払承諾見返	21,404	その他有価証券評価差額金	378
貸倒引当金	△10,263	評価・換算差額等合計	378
資産の部合計	2,235,383	純資産の部合計	123,710
		負債及び純資産の部合計	2,235,383

第89期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	44,020
資金運用収益	34,673
貸出金利息	27,916
有価証券利息配当金	6,440
コールローン利息	74
預け金利息	88
その他の受入利息	154
役務取引等収益	6,594
受入為替手数料	1,853
その他の役務収益	4,740
その他業務収益	2,055
外国為替売買益	642
商品有価証券売買益	0
国債等債券売却益	1,206
金融派生商品収益	207
その他の業務収益	0
その他経常収益	696
株式等売却益	68
その他の経常収益	627
経常費用	37,232
資金調達費用	2,307
預金利息	2,114
譲渡性預金利息	5
コールマネー利息	0
債券貸借取引支払利息	0
借入金利息	182
その他の役務費用	4
役務取引等費用	3,354
支払為替手数料	367
その他の役務費用	2,987
その他業務費用	917
国債等債券売却損	265
国債等債券償還損	483
国債等債券償却	168
営業経費	25,489
その他経常費用	5,164
貸倒引当金繰入額	1,362
貸出金償却	2,520
株式等売却損	79
株式等償却	599
その他の経常費用	603
経常利益	6,788
特別利益	1,809
償却債権取立益	1,809
特別損失	22
固定資産処分損	21
減損損失	1
税引前当期純利益	8,575
法人税、住民税及び事業税	53
法人税等調整額	891
法人税等合計	944
当期純利益	7,631

第89期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
株主資本		自己株式	
資本金		前期末残高	△62
前期末残高	57,941	当期変動額	
当期変動額	—	自己株式の取得	△0
当期変動額合計	—	当期変動額合計	△0
当期末残高	57,941	当期末残高	△63
資本剰余金		株主資本合計	
資本準備金		前期末残高	117,120
前期末残高	32,792	当期変動額	
当期変動額	—	剰余金の配当	△1,419
当期変動額合計	—	当期純利益	7,631
当期末残高	32,792	自己株式の取得	△0
資本剰余金合計		当期変動額合計	6,211
前期末残高	32,792	当期末残高	123,331
当期変動額	—	評価・換算差額等	
当期変動額合計	—	その他有価証券評価差額金	
当期末残高	32,792	前期末残高	3,576
利益剰余金		当期変動額	
利益準備金		株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,198
前期末残高	2,439	当期変動額合計	△3,198
当期変動額		当期末残高	378
剰余金の配当	283	評価・換算差額等合計	
当期変動額合計	283	前期末残高	3,576
当期末残高	2,723	当期変動額	
その他利益剰余金		株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,198
繰越利益剰余金		当期変動額合計	△3,198
前期末残高	24,009	当期末残高	378
当期変動額		純資産合計	
剰余金の配当	△1,703	前期末残高	120,697
当期純利益	7,631	当期変動額	
当期変動額合計	5,928	剰余金の配当	△1,419
当期末残高	29,937	当期純利益	7,631
利益剰余金合計		自己株式の取得	△0
前期末残高	26,448	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,198
当期変動額		当期変動額合計	3,012
剰余金の配当	△1,419	当期末残高	123,710
当期純利益	7,631		
当期変動額合計	6,212		
当期末残高	32,660		

第89期末 (平成23年3月31日現在)
連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	78,201	預金	2,049,534
買入金銭債権	11,811	譲渡性預金	6,780
商品有価証券	152	借入金	15,025
有価証券	503,890	外国為替	31
貸出金	1,561,427	その他負債	19,506
外国為替	5,666	退職給付引当金	5,166
その他資産	32,358	役員退職慰労引当金	114
有形固定資産	19,244	睡眠預金払戻損失引当金	445
建物	6,143	支払承諾	32,049
土地	10,838	負債の部合計	2,128,653
リース資産	40	(純資産の部)	
その他の有形固定資産	2,221	資本金	57,941
無形固定資産	2,272	資本剰余金	32,792
ソフトウェア	1,808	利益剰余金	35,088
リース資産	71	自己株式	△63
その他の無形固定資産	392	株主資本合計	125,759
繰延税金資産	24,274	その他有価証券評価差額金	386
支払承諾見返	32,049	その他の包括利益累計額合計	386
貸倒引当金	△15,141	少数株主持分	1,408
資産の部合計	2,256,208	純資産の部合計	127,554
		負債及び純資産の部合計	2,256,208

第89期 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)
連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	52,424
資金運用収益	34,638
貸出金利息	27,972
有価証券利息配当金	6,348
コールローン利息及び買入手形利息	74
預け金利息	88
その他の受入利息	154
役員取引等収益	7,370
その他業務収益	2,055
その他経常収益	8,359
経常費用	45,688
資金調達費用	2,425
預金利息	2,110
譲渡性預金利息	5
コールマネー利息及び売渡手形利息	0
債券貸借取引支払利息	0
借入金利息	297
その他の支払利息	10
役員取引等費用	2,303
その他業務費用	917
営業経費	25,769
その他経常費用	14,273
貸倒引当金繰入額	2,868
その他の経常費用	11,404
経常利益	6,736
特別利益	1,827
償却債権取立益	1,827
特別損失	22
固定資産処分損	21
減損損失	1
税金等調整前当期純利益	8,541
法人税、住民税及び事業税	419
法人税等調整額	686
法人税等合計	1,106
少数株主損益調整前当期純利益	7,435
少数株主損失	1
当期純利益	7,436

第89期 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)
連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
株主資本		その他の包括利益累計額	
資本金		その他有価証券評価差額金	
前期末残高	57,941	前期末残高	3,586
当期変動額	-	当期変動額	
当期変動額合計	-	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,199
前期末残高	57,941	当期変動額合計	△3,199
資本剰余金		前期末残高	386
前期末残高	32,792	その他の包括利益累計額合計	
当期変動額		前期末残高	3,586
当期変動額合計	-	当期変動額	
前期末残高	32,792	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,199
利益剰余金		当期変動額合計	△3,199
前期末残高	29,071	前期末残高	386
当期変動額		少数株主持分	
剰余金の配当	△1,419	前期末残高	1,421
当期純利益	7,436	当期変動額	
当期変動額合計	6,017	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△13
前期末残高	35,088	当期変動額合計	△13
自己株式		前期末残高	1,408
前期末残高	△63	純資産合計	
当期変動額		前期末残高	124,750
自己株式の取得	△0	当期変動額	
当期変動額合計	△0	剰余金の配当	△1,419
前期末残高	△63	当期純利益	7,436
株主資本合計		自己株式の取得	△0
前期末残高	119,742	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,212
当期変動額		当期変動額合計	2,803
剰余金の配当	△1,419	前期末残高	127,554
当期純利益	7,436		
自己株式の取得	△0		
当期変動額合計	6,016		
前期末残高	125,759		

役員・株式の状況

役員 (平成23年6月29日現在)

取締役頭取・CEO	青柳	俊一
取締役副頭取・COO	梅村	星児
専務取締役・専務執行役員	星野	智史
常務取締役・常務執行役員	安良	博男
常勤監査役	安田	達央
常勤監査役	奥田	行雄
監査役	佐藤	英夫
監査役	原口	秀夫

(注) 監査役佐藤英夫氏および原口秀夫氏は、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2にいう独立役員であります。

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

1 株式数

株式の種類	発行可能株式総数	発行済株式の総数
普通株式	138,750千株	50,722千株
第一回第一種優先株式	1,250千株	1,250千株
第二回第二種優先株式	5,000千株	5,000千株
第三回第三種優先株式	35,000千株	17,150千株

2 株主数

普通株式	12,201名
第一回第一種優先株式	2名
第二回第二種優先株式	2名
第三回第三種優先株式	1名

3 大株主

株式の種類	氏名又は名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
普通株式	株式会社みずほコーポレート銀行	4,791	9.45
	株式会社みずほ銀行	4,791	9.45
	明治安田生命保険相互会社	2,158	4.25
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,780	3.51
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,740	3.43
	株式会社損害保険ジャパン	1,588	3.13
	坂本飼料株式会社	1,249	2.46
	みずほ信託銀行株式会社	926	1.82
	千葉興業銀行行員持株会	634	1.25
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	632	1.24
第一回第一種優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	625	50.00
	株式会社みずほ銀行	625	50.00
第二回第二種優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	2,500	50.00
	株式会社みずほ銀行	2,500	50.00
第三回第三種優先株式	株式会社整理回収機構	17,150	100.00

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 3. 普通株式の持株比率は自己株式(53,261株)を控除して、算出しております。

株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 配当受領
株主確定日 期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内に開催
- 基準日 定時株主総会については、毎年3月31日
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 単元株式数 100株
- 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞
なお、決算公告につきましては、
当行ホームページの下記アドレスに
掲載いたします。
[http://www.chibakogyo-bank.co.jp/
toushi/ir/koukoku.html](http://www.chibakogyo-bank.co.jp/toushi/ir/koukoku.html)
- 株式事務取扱場所
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店 証券代行部

■ 単元未満株式の買取請求について

単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(買取制度)がございますので、どうぞご利用ください。

特別口座に記録された株式の買取請求については、下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)において受付けております。また、証券会社等の口座に記録された株式の買取請求については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ 特別口座株式のご売却について

特別口座にて管理されている単元株式を売却されるには、事前に証券会社等の口座を開設し、その後振替手続を行っていただく必要があります。お手続き等の詳細は下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)にお問い合わせください。

株主名簿管理人(特別口座管理機関)
みずほ信託銀行株式会社

■ お問合せ先(郵便物送付先)

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324

株主様のご住所・お名前等に関する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

 千葉興業銀行

〒261-0001 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>